

南の国からいらっしゃい！ 長池公園の渡り鳥



『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともに紹介していきます。

東南アジアなど温かい国で冬越ししていた小鳥たちが、繁殖のために続々と日本へ渡ってきます。皆さんがよくご存じのツバメも、毎年こうした大移動を繰り返しており、“夏鳥”と呼ばれています。夏鳥の多くは高原などで繁殖しますが、渡ってきたばかりの春から初夏にかけて、平地や丘陵地の小さな緑地でも観察できることがあります。

この時期、聞き慣れない小鳥の鳴き声を耳にしたら、その正体は海を越えて日本に到着した直後の彼らかもしれませぬよ！
※本稿は「みんなの長池vol.27 北の国からおかえりなさい！長池公園の渡り鳥」の姉妹編です。

コサメビタキ

全身がグレーで、大きくつぶらな瞳がポイントの小鳥です。

出会う機会はそう多くありませんが、一度出会ったら忘れられないほどの可愛さです。



インド、中国南部などから来ました！

オオルリ

ゴールデンウィークの頃、新緑の雑木林を飛び回っていることがあります。高尾山でも繁殖していることから、「八王子市の鳥」に指定されています。



スマトラ、ボルネオ、フィリピンなどから来ました！

インド、バングラデシュなどから来ました！



センダイムシクイ

雑木林の青葉に紛れるような背中のオリーブグリーンが印象的です。

“チヨチヨビ〜”という覚えやすいさえずりでその存在に気が付きます。

ヤブサメ

“シシシシシ…”というさえずりはまるで虫の声のようです。

込み入った藪の中にいることが多く、なかなか全身を見せてくれません。



フィリピン、マレー半島などから来ました！

台湾、中国南部などから来ました！



サンショウクイ

長池公園では珍しく、初夏に短期滞在した記録が数回あるだけです。

国内で越冬する別の亜種、リュウキュウサンショウクイは観察例が増えてきました。

キビタキ

森の中から“ピッコロロ ピッコロロ”という美しいさえずりが聴こえてきます。最近では長池公園でも繁殖しているようで、夏の間も見られるようになりました。

みんなの長池vol.27 natureかわら版
「北の国からおかえりなさい！長池公園の渡り鳥」はWEBでもご覧いただけます。
http://www.pompoco.or.jp/higashiyugi/animalsandplants/nature_k/miinnanonagaike_27_4.pdf

